

# 第443回 大阪眼科集談会プログラム

主催：一般社団法人大阪府眼科医会

日時：＜ライブストリーミング配信＞

令和3年8月7日（土）14：00～17：00

＜オンデマンド配信＞

令和3年8月18日（水）～8月24日（火）

座長：1-2 小林礼子（大阪大）、3-4 歌村翔子（近畿大）、5-6 藤原 亮（関西医大）  
7-8 平山公美子（大阪市大）、9 前田美智子（大阪医薬大）

- 1 先天網膜分離症の光干渉断層計検査所見  
○中畠彩夏、國吉一樹、岩橋千春、眞野福太郎、日下俊次（近畿大）
- 2 滲出型加齢黄斑変性に対するプロルシズマブ投与後の半年経過  
○平山公美子、山本 学、河野剛也、居 明香、本田 聡、三澤宣彦、平林倫子、  
本田 茂（大阪市大）
- 3 照射エネルギー減量光線力学療法後30か月安定した多発性後極部網膜色素上皮症の1例  
○中尾拓貴、三澤宣彦、居 明香、平山公美子、山本 学、河野剛也、本田 茂（大阪市大）
- 4 硝子体手術後10年を経て再発した黄斑円孔の1例  
○志水義尚、千原智之、大中誠之、城 信雄、山田晴彦、高橋寛二（関西医大）
- 5 無色素性網膜色素変性を伴ったコケイン症候群の1例  
○柗山友里恵、廣川貴久、戸成匡宏、松尾純子、菅澤 淳、喜田照代（大阪医薬大）、  
池田恒彦（大阪回生病院）、森脇真一（大阪医薬大皮膚科）
- 6 転移性悪性黒色腫に対するニボルマブ治療中に網膜色素上皮の散在性増殖変化を認めた1例  
○藤原 秀、橋田徳康、浅尾和伸、丸山和一、西田幸二（大阪大）
- 7 Visual snow syndromeの2例  
○田村佳菜子、國吉一樹、堀田芙美香、日下俊次（近畿大）
- 8 眼瞼下垂が初発症状であったKearns-sayre症候群が疑われた1例  
○廣川貴久、柗山友里恵、戸成匡宏、松尾純子、奥 英弘（大阪医薬大）  
池田恒彦（大阪回生病院）、喜田照代（大阪医薬大）
- 9 中心視野のみの夜盲を訴えたビタミンA欠乏症の一例  
○甲斐千舟、森本 壮、西田幸二（大阪大）

＜特別講演＞ 座長：中島伸子先生（大阪府眼科医会）

「いま必要な人に届ける斜視診療」 根岸 貴志 先生（順天堂大学）

会 費：1,500円

講演時間：7分 討論：3分

抄 録：400字以内 発表2週間前までに大阪眼科集談会係へ電子メールで送付して下さい。

次回集談会：令和3年10月 2日（土）毎日新聞 オーバル ホール

演題締切：令和3年 9月11日（土）全てデジタル一面で行います。

演題応募先：近畿大学医学部眼科学教室「大阪眼科集談会」係 担当 堀田芙美香

E-mail:ganka\_renraku@med.kindai.ac.jp

〒589-8511大阪狭山市大野東377-2 TEL 072-366-0221/FAX 072-368-2559